



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」

文責：校長

しゃかい おも 社会の中の思いやり

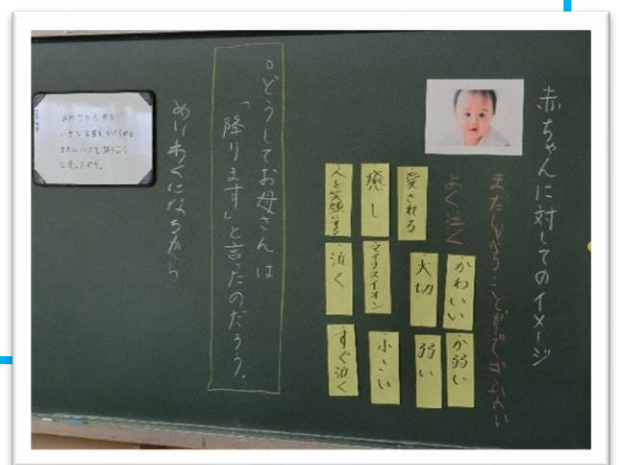
中学生道徳(11/15)より



バスと赤ちゃん

今から16年前の12月半ばを過ぎたころのことです。私は、週2回病院に通っていました。その日は雪が降りだしそうな空で、とても寒い日でした。昼近くになって、診察を終え、バス停からいつものバスに乗りました。車内は暖房がきいていて外の寒さを忘れるほどでしたが満席で、立ち並ぶ人の熱気と暖房とで、息苦しく感じてしまうほどでした。私は乗車口の反対側に立っていましたが、しばらくして後方からの赤ちゃんの火のついたような泣き声が聞こえました。ギュウギュウ詰めバスと、人の熱気と暖房で、赤ちゃんは苦しく、泣く以外に方法がなかったのでしょうか。泣き叫ぶ赤ちゃんを乗せて、バスは新宿に向けてはしていましたが、次の停留所に着いたとき、何人かが降りをはじめました。最後の人降りるとき、後方から「待ってください。降ります。」と若い女の人の声が聞こえ、人の間をかきわけるように前の方に進んできました。赤ちゃんの泣き声も同時に近づいてくることで、赤ちゃんを抱いているお母さんだとわかりました。そのお母さんがバスを降りようとお金を払おうとすると、運転手さんが「目的地はここなのですか？」と聞いています。「新宿なのですが、子どもが泣くのでここで降ります。」とお母さんは気の毒そうに小さな声で答えました。すると運転手さんが、「新宿まで歩いていくのはたいへんです。目的地まで乗って行ってください。」とそのお母さんに話し、急にマイクのスイッチを入れると、「皆様、ここにいらっしゃるお母さんは新宿まで行くのですが、赤ちゃんが泣いていて迷惑がかかるのでここで降りるとおっしゃっています。子どもは小さいときは泣きます。赤ちゃんは泣くのが仕事です。皆様、少しの間、お母さんと赤ちゃんをいっしょに乗せてください。」と

アナウンスしました。私も他の乗客も、どうしていいのかわかりませんでした。ほんの何秒か過ぎたとき、一人の拍手につられて、乗客全員の拍手が返事となったのです。お母さんは、何度も何度も頭を下げていました。今でもこの光景を思い出すと、目頭が熱くなります。



先週の中学生の道徳で、社会の中で思いやりが求められる状況において、自分はどうか対応しようと思うのか、どう判断して、行動したほうがよいのかを学びました。学校も、家庭も小さいながらも立派な社会です。この学習を通して、学校や家庭での身近な人たちに対する自分の態度はどうあるべきなのか、自分は周りの人たちに思いやりの気持ちを持って接しているのかをもう一度考え直してほしいです。またそれを言葉や行動でしっかり表現して行ってこそその本物の思いやりですね！

☆朝ごはんチャレンジコンクール2022☆ ひょうしょうでんたつ 表彰伝達

本校1年生生徒が金賞を受賞しました。立派な表彰状が届きましたので、11月17日(水)の朝の会に表彰伝達式を行いました。おめでとうございます！

ますますの精進しょうじんを期待しています。



<12月の主な予定>

※予定です。今後、変更もあります。



- 1日(木) (小中) 全校朝会
- 6日(火) (小中) 人権集会 授業参観 学級懇談会
- 7日(水) (中) 交流学习：外海中学校(生徒会役員選)
- 12日(月) (中) 交流学习：外海中学校(人権集会)
- 14日(水) (小) 交流学习：神浦小学校
(2年授業 4年社会科見学)
- 24日(金) (小中) 2学期終業式
- 25日(土) 「よく学び よく遊ぶ けじめのある冬休み」
↓
1/9(月) ~早寝・早起き・朝ごはん 宿題 お手伝い~
- 1/10(火) (小中) 3学期始業式

